ジビエ利活用コーディネーター登録票

	ふりがな	みやわき ゆたか	
1	氏 名	宮脇 豊	
④ 所属先	名称	サージミヤワキ株式会社	
	役職名	代表取締役	
	電話番号	03-3449-3711	
	e-mail	ym※surge-m.co.jp (送信の際は、※を@に置き換えてください)	
専門分野 ⑥ (該当するものを全て選択)		□地域合意形成 ☑ジビエ等の有効利用に適した捕獲手法 □捕獲鳥獣の解体・処理加工	
		□処理加工施設における衛生管理 □処理加工施設の運営 □商品開発 □流通	
		□販路開拓 □ペットフード利用 □皮革利用 □動物園等でのと体給餌	
		□油脂利用 □骨利用	
		その他 (野生動物活用のトレーサビリティと衛生管理 システム)	
対象鳥獣		☑シカ ☑イノシシ ☑クマ	
⑦(該当する	るものを全て選択)	その他()	
対応 8	5可能地域	☑全国 □北海道 □東北 □関東 □北陸 □東海	
		□ □ 近畿 □ 中国 □ □ □ □ □ 九州 □ 沖縄	
(該当するものを全て選択)		その他特定の都道府県、地域(
⑫ 活動実績			
活動期間		2006 - 2023	
地 域 島根県(豚トレサ固有番号桁数を		島根県(豚トレサ固有番号桁数を国の牛固有番号と同数し、牛肉流通機器利用可 ジビエ応用可)	
活動分野 (該当するものを全て選択)		□地域合意形成 ☑ ジビエ等の有効利用に適した捕獲手法 □捕獲鳥獣の解体・処理加工	
		□処理加工施設における衛生管理 □処理加工施設の運営 □商品開発 □流通	
		□ □ 販路開拓 □ ペットフード利用 □ 皮革利用 □ 動物園等でのと体給餌	
		│ │ □ 油脂利用 □ 骨利用	
対象鳥獣			
(該当するものを全て選択)		その他 ()	
活	動内容	 動物個体識別器具専門業者として広域対応しつつ現場作業者が使い易い耳標ID番号記述手段Nu開発し、国内、アメリカ、カナダ、NZ等で特許化。これを用いて、2006年島根県の養豚トレサビリラシステム開始、現在までデータ40万頭以上。2006年、牛の個体識別事業の有料化手段案として農水省第30人程にシステムを紹介。2017年JICAのプロジェクトにおいて、来日パキスタン研究者に同シスラを紹介。2019年より、酪農学園大学の伊吾田先生と①シカの捕獲場所→処理施設→消費までのトレープロー、②衛生検査記録保管方法、③行政事務簡素化(映像による不正受給防止と、支払い事務自動化)④切歯による捕獲個体の年齢確定による群年齢構造推定のシステム検討中。 道総研北海道環境科学研究センター他が開発したシカの生体捕獲用「小型囲い罠」製造販売 	ティ 職員 テム スフ